った先人をしのび、感謝

| 智大学の発展の礎とな

今日の

創立記念プログラム 職員の働き方改革プロ

教職員が表彰を受けた。

勤続25年および15年の

これは2年次生が看護職

司祭から手の祝福を受ける

謝辞に今後の決意を込める

ュニケーションの活性化

りに思います」と感謝を

築正男(同)

David H. Slater

述べた。

先哲祭ミサ・永年勤続者表彰式・創立記念プログラム

そのミッションと実

勤続者は次のとおり

内は所属。

敬

(SGU事業推進室)

長谷川裕美(人事グルー

飯塚康史(管財グ

廣康好美(言語教育研究

リッサ(国際教養学科)

ハギリアン・

(25年永年勤続表彰 スレイター・デビッド)

ローバル学科)、根本敬

保坂亜矢子

センター)、岩崎明

本年度表彰された永年

聖イグナチオ教会主聖

|現在を識別する| と題し

モニーが聖イグナチオ教

学部看護学科のナーシン

司祭から祝

思いを大切にしていただ

の4年次生によって2年

次生全員のキャンドルに

そしてその

護の灯」を表すメインキ

現

ح

ャンドルの灯りが、

役に立ちたいという思い

## (3)先哲に感謝を捧げるミサ Othersの精神をさらに の未来を準備するために 界を創ることができるよ 深く身につけ、 たちがFor Others, With

平和な世

ブズ、サステナビリティ

本学のさらなる発展のた

ソフィア・アーカイ

ク・イエズス会センタ

反力くださったことに

グローバル学科)

、スレ

同

星野綾(同)、 山映(学事センター)

岡田るみ

岡部みどり

島田真理恵(看護学科)

須山浩行(同)

Staying Unsettled

(人事グ

イター・デビッド(国際

川瀬剛志(地球環境法学

同

刀根忠繁(入学センタ

(同)〈生涯学習担当〉)、

、カトリ

上智学院のため

科)、ペーロン・ブルノ

永井敦子(フランス文学

【勤続15年(25人)

オリバー・クリス(同)、

(短期大学部英語科)

As I have gotten older, rather than becoming more conservative or nostalgic, I am more impatient than ever for positive change. With age, I feel the urgency

of our collective situation here at Sophia University, a feeling that stems from the recognition of the huge potential we have assembled and with which

we can do so much more. When  $\hat{\mathrm{I}}$  entered in 1997, as the youngest member of the Faculty of Comparative Culture (比較文化学部), we were a diverse group, both teachers and students, many of them talented scholars and enthusiastic teachers, loosely organized in ways that left much room for innovation and creativity, but probably also some unevenness. I was part of that unevenness.

unrefined in my own scholarly voice, and still trying to get my footing in the

I hugely benefited from the time and care my senior colleagues gave me, helping

when I was lost, showing pathways that I never knew existed. I will always be appreciative of the opportunity to work at Sophia, to support myself and

my family, doing what I loved when I started and love even more today. As

the Faculty of Liberal Arts, (国際教養学部) we have become a much more organized unit, with open hiring of top scholars, finely tuned admissions of good students, and a stable workplace conducive to productive scholarship and competent teaching. In the stability there is comfort, but this is something I have grown increasingly ambivalent about. Should we be comfortable? I hope in my remaining years I can support my junior colleagues in seeking not just stability but improvement, not ease but innovation. I think we are all at our best when we are a bit unsettled

in ourselves, and disruptive to the environment around us.

0年3月学事部長兼学事

94年4月~200

部事務部長を務めた。

んめの信号とシステム』

『音入門・聴覚・

著書に『音声・聴覚の

国語学研究科言語学専攻 01年4月~06年3月外 月~97年3月および20 学習センター長、93年4 2年4月~05年3月公開

田渕六郎(社会学科

佐藤直子(哲学科)

説教では

上智を語る、

倉久永経済学部教授が挨

欅田英之

イツ語学科)

(フラン

務センター

基礎』翻訳(海文堂出

学』監訳、『音声知覚の 音声科学のための音響

センター)

成田靖

同

(機能創造理工学

「学生一人ひとり

る」をテーマに企画した。

公募に応じ「互いを知る

センタープロジェクトが

11月14日

主司式にて行われた。

(上智学院理事長)

ーロ・ソーサ総長の講話

■永年勤続表彰式 ログラムが行われた インを取り混ぜ6つの

【勤続25年

(18 人)

イエズス会アルトゥ

佐久間勤神

先哲祭ミサ 創立記念プログラム 永年勤続者表彰

看護学科2年次生を祝福

職者を志す人として、 福を受けるもの。 なさん一人ひとりがとて 看護学科長が式辞を述 校歌斉唱の後、 「看護学を学び、専門 草柳浩 りかけた。 きたいと思います」と語 聖書朗読、

のメッセージの後、コミ 祝福が授けられた。 生一人ひとりに「手」の セレモニー

微力でも誰かの

司式者から 関わる人たちの健康と平 受け渡された。 って、私たちがこれから ていただいたこの手によ 恒文さんが「本日祝福し 佐久間理事長の祝辞の 2年次生代表の岡林 和の実現に貢献 M&A戦略論」が開催さ

ミナー

「クロスボーダー

これまで経済学部で

と謝辞を述 できるよう、日 謝しながら、学 ださる方々に感 して関わってく 々の出会い、そ んでいきたい は、経営層が経営戦略に 多く開いてきたが、 ついて語る「講演会」を



者層を招き特定のト 講師は本学の卒業生

最後に聖歌で

## 役 経済学部主催 コンサルタント 「クロスボーダーM&A戦略論」セミナー から 最 采斤 O 企

学 ぶ

今後も

(理工学

研究奨励賞(受賞日:6

造理工学科) 田中秀岳准教授

(機能創

■カトリック学術奨励金

| 攻情報 | 月10日)

| 葛西賢太教授(死生学専

|際助成プログラム採択

(採択日:9月28日)

■トヨタ財団2022国

たセミナーなどを実施し 継続的に外部講師を招い

ていきたい」と語った。

前2

若手奨励賞

(受賞

日 ・ 9

石井紀子教授(英語学科)

ーバル学科)

田中雅子教授(総合グロ

■低温工学・超電導学会

■日本セラミック

之協会

|坂野正則教授(史学科)

月27日

グ株式会社協力によるセ アンド・コンサルティン 10月4日、経済学部主 EYストラテジー・ クについて深く掘り下げ る の開催は リーマートとサークルK 人一組にわかれ サンクスの経営統合の効 ファミ

使し企業の経営課題を分 会社。講師は、 を行うコンサルティング ンスといった戦略の立案 バルネットワークを駆 M&Aやアライア いったケーススタディー の資本提携の目的は」と 各々の知識とア 楽天と日本郵政

■日本音響学会学生優秀

(理工学

日:6月21日)

月30日)

令和4年度論文賞(受賞

| 究助成採択(採択日:9

■泉科学技術振興財団研

汝物理

谷貝剛教授(機能創造理

竹岡裕子教授

(物質生命

領域博

工学科・筆頭著者)

理工学科)

高尾智明教授(同・第3

学 生

日

常慶

旻

前1

でなく、現場レベルでの 澤典明氏(02年経 学氏(96年経営卒)と樺 て活躍する卒業生の篠原 &Aコンサルタントとし 同社で M 統合のシナジーについて が必要なのだと学びまし 業界・企業に関する知見 を提言するために幅広い する企業双方のメリット イデアを持ち寄って企業 サルタントには、 、経営3) は 「M&Aコ 参加者の沖重太翼さん 発表を行った。 統合 発表賞(受賞日:9月15

専攻情報

ストプレゼン賞

(受賞日 学会べ

(理工学

■日本細胞性粘菌

著者)

行われた。学生たちは4 ループワークが交互に セミナーでは、講義と |学科准教授は、 ス語学科)、 た」と話した。 企画者の若林利明経営 「本学の

後3 後3

学領域博

専攻情報 (理工学

辻慎

学領域博

: 10月9日

**汝生物** (理工学 加菜

月 23 日)

■2022年度砥粒加工 小阪玄次郎教授(経営学

82歳

学会技術賞(受賞日:8

年上智大学大学院修士課

1940年生まれ。69

程修了。70年本学外国語

84年同教授。2007年 同講師、77年同助教授、 学部英語学科助手、73年

から本学名誉教授。19年

春瑞宝小綬章。

生担当副学長、92年4月

88年2月~93年3月学

94年3月および200

回研究助成(採択日:6 ■村田学術振興財団第38

白血

**菅原勉名誉教授逝去** 

病・肺炎